

2026年4月30日

日揮ホールディングス株式会社
株式会社レポインターナショナル
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

愛知県名古屋市、中部国際空港と 廃食用油の SAF への資源化促進に関する協定を締結 ～4月より家庭から出る廃食用油の一部を国産 SAF 向けに利用開始～

日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レポインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レポインターナショナル」）および合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）は、愛知県名古屋市（市長：広沢 一郎）ならびに中部国際空港株式会社（代表取締役社長：籠橋 寛典、以下「中部国際空港」）と持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）等の原料となる使用済み食用油（以下「廃食用油」）の資源化促進を図るため、このたび「持続可能な社会の構築に向けた廃食用油の資源化促進に係る連携及び協力に関する協定」（以下「本協定」）を締結しましたのでお知らせします。

また、4月29日には、回収した廃食用油が SAF などに活用されていることを市民の皆様にご案内いただき、有用な資源としての提供にご協力いただけるように周知を行うキャンペーンイベントをアピタ千代田橋店で開催しました。イベントにおいて、名古屋市の鬼頭環境局長からは「名古屋市では、15年以上前にアピタ千代田橋店から始まった廃食用油の回収を、現在は市内71店舗で実施し、資源循環と温室効果ガス削減に取り組んでいます。今回、新たに廃食用油を航空燃料 SAF として活用し、中部国際空港で使用されるという循環が実現したことをきっかけとして、今後も市民の皆様へ回収への協力を呼びかけています。」というお言葉をいただきました。



キャンペーンイベントでの発表会の様子（左からレポインターナショナルの立田真介炭素源循環推進部次長、名古屋市の鬼頭 秀一環境局長、中部国際空港の坂田 一亮サステナビリティ推進担当執行役員、日揮ホールディングス兼 SAFFAIRE SKY ENERGY の西村勇毅最高執行責任者 COO）

さらに、このたび名古屋市は、廃食用油で航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project」にも参加することとし、家庭から回収した廃食用油を SAF へリサイクルする取り組みを進めてまいります。

【協定締結に至った経緯】

Fry to Fly Project に参加している中部国際空港が、廃食用油を SAF に循環させる取り組みの一環として、県内自治体である名古屋市と、日揮 HD、レポインターナショナル、SAFFAIRE SKY

ENERGY を引き合わせたことにより、このたび、名古屋市の家庭から排出される廃食用油の一部を回収して SAF に資源循環させるための協定を締結し、4 月から廃食用油の回収を開始しました。

製造された国産 SAF は当面の間、中部国際空港をはじめとする国内主要空港発の国際線旅客機や貨物機の燃料として使用されることとなります。

日揮 HD、レポインターナショナルおよび SAFFAIRE SKY ENERGY は、名古屋市および中部国際空港と連携し、将来各空港において国産 SAF のニーズが拡大していくことを見据えて、市民に対する機運醸成を図り、廃食用油の資源循環をより一層推進することでカーボンニュートラル社会の実現を目指します。

【協定の主な内容】

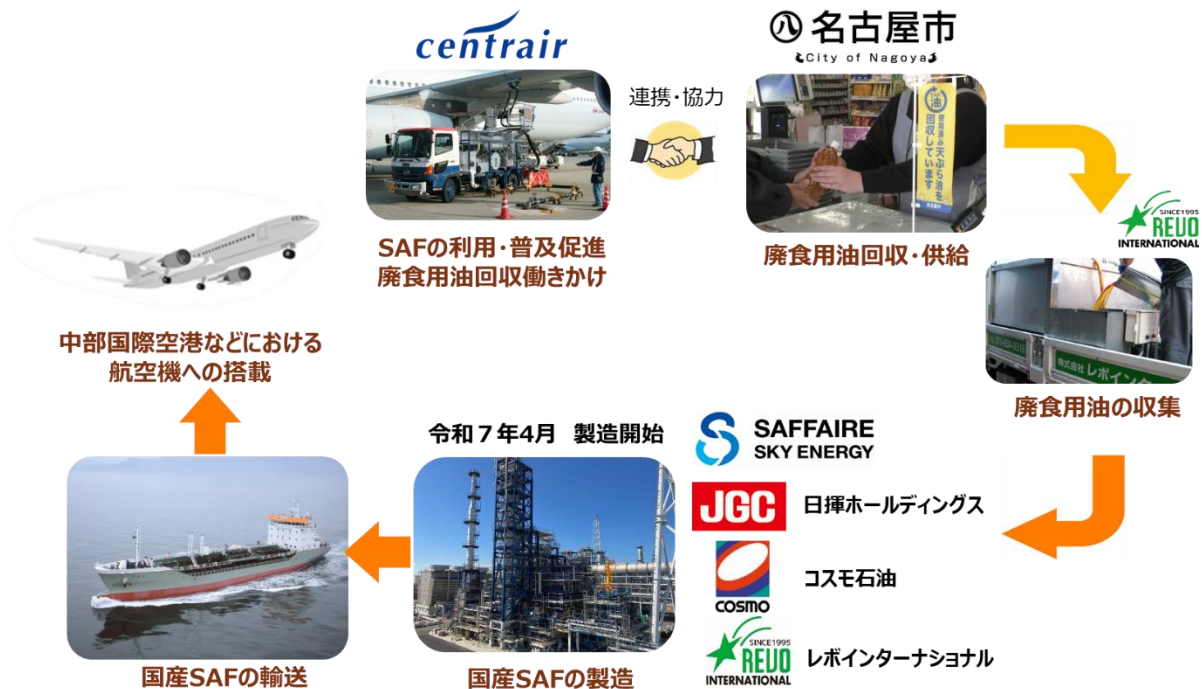
- (1) 廃食用油の回収に関すること。
- (2) 名古屋市内で回収した廃食用油を用いた SAF 等の製造に関すること。
- (3) 本再資源化を広く情報発信する機会の提供に関すること。
- (4) その他、本協定の目的を実現するために必要なこと。

【協定に基づく具体的な取り組み】

名古屋市は 2009 年度に 1 店舗で、家庭で出た廃食用油回収を開始し、本年 3 月末時点では市内 71 か所の回収協力店舗において廃食用油回収を実施しています。2025 年度には約 6 万リットルの廃食用油を回収し、回収した廃食用油は主にバイオディーゼル燃料として資源化していました。

今回の協定に基づき、名古屋市が回収した廃食用油の一部をレポインターナショナルが収集し、国内初の SAF 大規模生産を行う SAFFAIRE SKY ENERGY のプラント（コスモ石油堺製油所内）へ運び、国産 SAF の原料としての資源化を開始します。

本取り組みは、市民の皆様一人ひとりが身近な行動を通じて温室効果ガス削減に貢献できる機会となるものであり、事業者・行政が連携して、市民の皆様への周知を行い、温室効果ガスの削減と資源循環の推進に取り組んでいきます。



本連携協定に基づく取り組みスキームイメージ

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD とレポインターナショナルは、コスモ石油株式会社と共同で、国内における廃食用油の回収から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間

約3万キロリットルの SAF の供給を目指しています。2024 年 12 月にコスモ石油堺製油所（大阪府堺市）内において SAF 製造装置の建設が完了し、2025 年 4 月から SAF の供給も開始しています。供給する SAF は、国際的な持続可能性認証である ISCC CORSIA 認証を取得しています。なお、本事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html



SAF 製造装置



SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設

【Fry to Fly Project について】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。プロジェクトは日揮 HD が発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。

特設ホームページ：<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>



以上

お問い合わせ先

日揮ホールディングス株式会社 経営企画ユニット 広報グループ 伊達、川島

電話：045-682-8026

株式会社レボインターナショナル コーポレートサービス部 広報 奥村

電話：075-353-2277